

合同パネルディスカッション1・2

Main Hall・Room A

合同パネルディスカッション1

日本病態栄養学会 / 日本臨床栄養学会 / 日本栄養治療学会

治療食の見直しに関する 3学会合同委員会報告

第2日目 2026年1月31日(土) 09:55~11:55 "Main Hall"

治療食の見直しに関する3学会合同委員会においては、"定義"、"病院食の分類"、"小児"の3つのテーマを設定し議論を重ねてきた。本合同パネルでは、これらの活動成果を報告するとともに、活発な議論を期待する。

座長

東京医科大学 腎臓内科学分野 主任教授 菅野 義彦

国立研究開発法人国立がん研究センター東病院 栄養管理室 栄養管理室長 須永 将広

合PD1-1 治療食の新たな定義について

悦伝会目白第二病院 副院長・外科部長 / (一社) 日本病態栄養学会 水野 英彰

合PD1-2 治療食の新たな分類

川崎医科大学 総合老年医学 教授 / (一社) 日本臨床栄養学会 杉本 研

合PD1-3 特別治療食の新たな分類案における小児の治療食

大阪府立病院機構 大阪母子医療センター 栄養管理室 室長 / (一社) 日本臨床栄養学会 西本裕紀子

合PD1-4 治療食見直しに関する三学会合同委員会で審議した内容の妥当性を検証する

東邦大学医学部臨床支援室教授
東邦大学医療センター大森病院 栄養治療センター部長、栄養部部長 / (一社) 日本栄養治療学会 鷺澤 尚宏

合同パネルディスカッション2

日本病態栄養学会 / 日本褥瘡学会

褥瘡治療の最前線と管理栄養士の役割

第2日目 2026年1月31日(土) 09:55~11:55 "Room A"

褥瘡学会側から褥瘡治療の最前線をそれぞれ内科的処置と外科的処置の視点から概説のうえで、病態栄養学会の管理栄養士の視点から、実際の活動を通じた有益性を発表し、治療と栄養管理の面から褥瘡治療の最先端を模索する。

座長

関西電力病院 疾患栄養治療センター 栄養管理室長 / (一社) 日本病態栄養学会 真壁 昇

奈良県総合医療センター 薬剤部 部長 / (一社) 日本褥瘡学会 生島 繁樹

合PD2-1 褥瘡ケアと栄養サポート

古賀総合病院 皮膚科 / (一社) 日本褥瘡学会 天野 正宏

合PD2-2 褥瘡治療と栄養 ~形成外科の立場から~

兵庫県加古川医療センター 形成外科 / (一社) 日本褥瘡学会 櫻井 敦

合PD2-3 褥瘡予防・管理における栄養サポートの実際

関西電力病院 疾患栄養治療センター / (一社) 日本病態栄養学会 右谷 怜奈

合PD2-4 褥瘡対策における管理栄養士の役割

社会医療法人全仁会倉敷平成病院 栄養科 科長 / (一社) 日本病態栄養学会 小野 詠子

合同パネルディスカッション 3・4

Room A・Room D

合同パネルディスカッション 3

日本病態栄養学会 / 日本肝臓学会

肝疾患における肝臓専門医と肝疾患病態栄養専門管理栄養士の連携診療のあり方

第 2 日目 2026年 1月 31日(土) 09:55～ 11:55 "Room D"

MASLD/MASHの増加とともに、肝疾患における栄養管理の重要度は高まっている。肝疾患病態栄養専門管理栄養士が発足してから約 2年経過し、現場での肝臓専門医と肝疾患病態栄養専門管理栄養士の連携がいかにあるかを議論する機会を設けたい。

座長

愛媛大学大学院医学系研究科 消化器・内分泌・代謝内科学 主任教授／

(一社) 日本病態栄養学会

日浅 陽一

岐阜大学大学院 消化器内科学 教授／(一社) 日本肝臓学会

清水 雅仁

合 PD3-1 肝臓専門医と管理栄養士、よりよい連携のために必要なこと

＝肝疾患への栄養療法に関する意識調査の結果からの考察＝

信州大学医学部 国際医学研究推進学 教授／(一社) 日本肝臓学会

田中 直樹

合 PD3-2 肝臓専門医と専門管理栄養士の情報共有の重要性

ウエルエイジング日本橋クリニック 消化器内科 副院長／(一社) 日本肝臓学会

白石 光一

合 PD3-3 武蔵野赤十字病院における消化器内科と栄養課の連携の実際

武蔵野赤十字病院 栄養課 課長／(一社) 日本病態栄養学会

原 純也

合 PD3-4 肝疾患病態栄養専門管理栄養士の目指すべき役割と当院における取り組みについて

愛媛大学医学部附属病院 栄養部 部長／(一社) 日本病態栄養学会

利光久美子

合同パネルディスカッション 4

日本病態栄養学会 / 日本心不全学会

合併症を持った心不全の管理

第 2 日目 2026年 1月 31日(土) 14:00～ 15:50 "Room A"

心不全が増加している中、近年は特に高齢者を中心に腎疾患、貧血、糖尿病、サルコペニアなど複数の疾患が併存しているケースが多い。このような複数の疾患を併存して持っている心不全患者の栄養管理についてディスカッションする。

座長

吉野川病院 循環器内科・徳島大学名誉教授／(一社) 日本病態栄養学会

中屋 豊

三重大学大学院 医学系研究科循環器・腎臓内科学 教授／(一社) 日本心不全学会

土肥 薫

合 PD4-1 合併症を持った心不全の栄養管理 -overview-

鳥取大学 医学部附属病院循環器内科 講師／(一社) 日本心不全学会

衣笠 良治

合 PD4-2 低栄養を合併した心不全の栄養管理

独立行政法人労働者健康安全機構大阪労災病院 栄養管理部 栄養管理室長／

(一社) 日本病態栄養学会

西條 豪

合 PD4-3 慢性腎臓病(CKD)を合併した心不全の栄養管理

大阪大学 循環器内科 特任講師／(一社) 日本心不全学会

坂本 陽子

合 PD4-4 フレイル・サルコペニアを合併した心不全患者の栄養管理

社会医療法人近森会近森病院 臨床栄養部 部長／(一社) 日本病態栄養学会

宮島 功

合同パネルディスカッション5・6

Main Hall・Room D

合同パネルディスカッション5

日本病態栄養学会 / 日本腎臓学会

CKD診療ガイドライン2023のポイントとその後の変化

第2日目 2026年1月31日(土) 14:00～15:50 "Room D"

本セッションでは、「CKD診療ガイドライン2023」(日本腎臓学会編)における食事・栄養療法のポイントとその活用法を議論するとともに、「CKD診療ガイドライン2023」以降の変化として、「日本人の食事摂取基準2025年版」(厚生労働省)と現在進行中の「慢性腎臓病の食事摂取基準2014年版」の改定案(日本腎臓学会)について紹介する。

座長

市立湖西病院 腎臓内科 病院長特別補佐 / (一社) 日本病態栄養学会 加藤 明彦

東京医科大学病院 腎臓内科 講師 / (一社) 日本腎臓学会 長井 美穂

合PD5-1 CKD診療ガイドライン2023の栄養パートを読み解く: 科学的根拠の視点

金沢大学附属病院 栄養管理部 栄養管理室長 / (一社) 日本腎臓学会 徳丸 季聡

合PD5-2 CKD診療ガイドライン2023の栄養パートを読み解く: 臨床実践の視点

国家公務員共済組合連合会虎の門病院 栄養部 部長 / (一社) 日本病態栄養学会 土井 悦子

合PD5-3 日本人の食事摂取基準2025の概要 慢性腎臓病(CKD)を中心に

新潟大学大学院医歯学総合研究科 病態栄養学講座 特任講師 / (一社) 日本病態栄養学会 蒲澤 秀門

合PD5-4 日本腎臓学会における食事療法基準の改訂に向けて

新潟大学大学院医歯学総合研究科 腎研究センター 病態栄養学講座 特任准教授 / (一社) 日本腎臓学会 細島 康宏

合同パネルディスカッション6

日本病態栄養学会 / 日本糖尿病学会

糖尿病をもつ高齢者に対する包括的栄養療法の実践

第2日目 2026年1月31日(土) 16:00～17:50 "Main Hall"

糖尿病をもつ高齢者では、血糖マネジメントだけでなくフレイル・サルコペニア対策に加え、日常生活や食の楽しみを含めた人生のQOLをどう守るかにも考慮した包括的な栄養療法の実践が課題である。本セッションでは、包括的栄養療法の実践をテーマに、病態・生活背景・ケア体制を多面的に評価し、治療目標と生活の目標を両立させる栄養介入の組み立て方と、多職種連携の実践について議論する。

座長

公益財団法人田附興風会 医学研究所北野病院 理事長 / (一社) 日本病態栄養学会 稲垣 暢也

熊本大学大学院生命科学研究部 代謝内科学講座 教授 / (一社) 日本糖尿病学会 窪田 直人

合PD6-1 高齢者糖尿病診療ガイドラインにおける栄養療法のエビデンス

東京医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科学分野 主任教授 / (一社) 日本糖尿病学会 鈴木 亮

合PD6-2 糖尿病をもつ高齢者の病態と生活を踏まえた包括的食事療法

関西電力病院 糖尿病・内分泌代謝センター 部長 / (一社) 日本病態栄養学会 山崎 裕自

合PD6-3 愛知医科大学病院における糖尿病をもつ高齢者に対する栄養療法の実践

愛知医科大学医学部 シミュレーションセンター 准教授 / (一社) 日本糖尿病学会 森下 啓明

合PD6-4 多様な病態に応じた高齢者糖尿病の栄養支援

国家公務員共済組合連合会虎の門病院 栄養部 科長 / (一社) 日本病態栄養学会 山本 恭子

合同パネルディスカッション 7・8

Main Hall・Room A

合同パネルディスカッション 7

日本病態栄養学会 / 日本摂食嚥下リハビリテーション学会

美味しい嚥下調整食の提供のために

第 2 日目 2026年 1月 31日(土) 16:00～17:50 "Room A"

嚥下障害をもつ人にとって嚥下調整食は、誤嚥予防と栄養確保の要である一方、「おいしさ」や食べる喜びが損なわれがちです。本合同パネルディスカッションでは、「美味しい嚥下調整食の提供のために」をテーマに、安全性と QOL を両立させるための食形態・味付け・見た目の工夫などについて議論する。

座長

県立広島大学 人間文化学部健康科学科 教授 / (一社) 日本病態栄養学会 栢下 淳
 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター リハビリテーション科 診療科長・医長 /
 (一社) 日本摂食嚥下リハビリテーション学会 藤谷 順子

- 合 PD7-1** 美味しい嚥下調整食提供に求められる口腔機能
 新潟大学大学院 医歯学総合研究科 摂食嚥下リハビリテーション学分野 教授 /
 (一社) 日本摂食嚥下リハビリテーション学会 井上 誠
- 合 PD7-2** 病院における嚥下調整食: 美味しさと栄養を両立させることは可能か?
 NTT 東日本関東病院 栄養部 / (一社) 日本病態栄養学会 上島 順子
- 合 PD7-3** 嚥下調整食を美味しく食べるために必要なケア
 Caresso 代表 / (一社) 日本摂食嚥下リハビリテーション学会 永野 彩乃
- 合 PD7-4** 栄養強化した美味しい嚥下調整食の魅力
 愛知医科大学 栄養治療支援センター 教授 / (一社) 日本病態栄養学会 前田 圭介

合同パネルディスカッション 8

日本病態栄養学会 / 日本栄養治療学会

GLIM 基準

第 3 日目 2026年 2月 1日(日) 09:00～11:00 "Main Hall"

本合同パネルディスカッションでは、GLIM 基準を用いた栄養障害評価の実臨床における運用実態と課題を、医師と栄養士のそれぞれの視点で共有・検討する。急性期・回復期・在宅など多様な場面でのスクリーニングから診断、介入へのつなげ方、診療報酬や人員配置との整合性、他職種連携の工夫を議論する。

座長

- 関西電力病院 副院長 / (一社) 日本病態栄養学会 山田祐一郎
 福井大学医学部附属病院 センター長 診療教授 / (一社) 日本栄養治療学会 廣野 靖夫
- 合 PD8-1** GLIM 基準の概要、運用実態と課題
 愛知医科大学 栄養治療支援センター 教授 / (一社) 日本栄養治療学会 前田 圭介
- 合 PD8-2** 日本病態栄養学会 GLIM 基準検証委員会によるアンケート調査報告
 関西電力病院 疾患栄養治療センター 栄養管理室長 / (一社) 日本病態栄養学会 眞壁 昇
- 合 PD8-3** 急性期病院において栄養評価に求められる要素は何か?
 社会福祉法人恩賜財団神奈川県済生会横浜市東部病院 栄養部 部長 /
 (一社) 日本病態栄養学会 工藤 雄洋
- 合 PD8-4** 回復期リハビリテーション病棟における GLIM 基準の適用と課題
 長崎県立大学 看護栄養学部栄養健康学科 教授 / (一社) 日本栄養治療学会 西岡 心大

合同パネルディスカッション9・10

Main Hall・Room A

合同パネルディスカッション9

日本栄養療法協議会

診療ガイドライン策定への期待

第3日目 2026年2月1日(日) 09:00~11:00 "Room A"

本合同パネルディスカッションでは、日本栄養療法協議会を構成する各領域における栄養研究の最新動向を共有するとともに、診療ガイドライン策定に必要なエビデンス構築のあり方や、学会横断の体制整備・連携の課題を明らかにしつつ今後の展望を議論したい。

座長

関西電力病院 総長/関西電力医学研究所 所長 清野 裕
 国家公務員共済組合連合会虎の門病院 院長 門脇 孝

《総論》

川崎市立川崎病院 病態栄養治療部 部長/(一社)日本病態栄養学会 津村 和夫

合 PD9-2 脂肪性肝疾患診療は多職種連携の時代に —MASLD診療ガイドライン 2026 今後の展望—

虎の門病院 肝臓内科 部長(虎の門病院 内科総代) / (一社)日本肝臓学会 芥田 憲夫

合 PD9-3 CKD診療ガイドラインに基づいた慢性腎臓病の食事基準

帝京大学 医学部 教授/(一社)日本腎臓学会 柴田 茂

合 PD9-4 糖尿病診療ガイドライン 2024に基づく最新の糖尿病食事療法のエビデンスと指導演

横浜市立大学大学院医学研究科 分子内分泌・糖尿病内科学 教授/

(一社)日本糖尿病学会 寺内 康夫

合同パネルディスカッション10

日本病態栄養学会 / 日本肥満学会 / 日本肥満症治療学会

肥満症診療の最前線：食事療法・薬物療法・外科療法による統合的アプローチ

第3日目 2026年2月1日(日) 13:00~14:45 "Main Hall"

肥満症治療は、生活習慣介入のみならず、内科的・外科的治療を組み合わせた統合的アプローチが求められている。本合同パネルでは、食事療法・行動変容支援の実際、インクレチン関連薬を含む薬物療法、減量・代謝改善手術の適応と位置づけを整理し、心血管リスクや QOLも踏まえた治療戦略を議論したい。

座長

熊本大学大学院生命科学研究部 代謝内科学講座 教授/(一社)日本病態栄養学会 窪田 直人

独立行政法人国立病院機構 四国こどもとおとなの医療センター 臨床研究部 部長/

(一社)日本肥満学会 吉田守美子

兵庫医科大学 上部消化管外科 主任教授/(一社)日本肥満症治療学会 篠原 尚

合 PD10-1 肥満症薬物療法の効果と課題

岩手医科大学医学部内科学講座 糖尿病・代謝・内分泌内科分野 教授/

(一社)日本肥満学会 石垣 泰

合 PD10-2 高度肥満症に対する外科治療

北里大学医学部 下部消化管外科学 主任教授/(一社)日本肥満症治療学会 内藤 剛

合 PD10-3 肥満症治療における栄養士の関わりについて

熊本大学病院 栄養管理室/(一社)日本病態栄養学会 三島 裕子

合同パネルディスカッション 11・12

Room A・Room D

合同パネルディスカッション 11

日本病態栄養学会 / 日本老年医学会

認知症予防のための栄養療法

第 3 日目 2026年 2月 1日(日) 13:00～ 14:45 "Room A"

認知症予防においては、フレイル・サルコペニアや口腔機能、生活背景を踏まえた栄養介入が重要性を増している。本合同パネルディスカッションでは、疫学・介入研究から得られた食事パターンや栄養素と認知症リスクのエビデンスを整理するとともに、実臨床における「認知症予防のための栄養療法」を議論したい。

座長

国家公務員共済組合連合会虎の門病院 内分泌代謝科 部長／(一社) 日本病態栄養学会
愛知医科大学 栄養治療支援センター 教授／(一社) 日本老年医学会

森 保道
前田 圭介

合 PD11-1 《日本老年医学会として》＜臨床現場における認知症の栄養＞

医療法人大誠会 内田病院／(一社) 日本老年医学会

田中 志子

合 PD11-2 高齢者糖尿病における認知症の現状とその予防のための食事療法

秋田大学大学院医学系研究科 先端医学研究推進講座／(一社) 日本病態栄養学会

藤田 浩樹

合 PD11-3 多疾患併存(マルチモビディティ) のある認知症高齢者の栄養療法

名古屋大学医学部附属病院／(一社) 日本老年医学会

柳川まどか

合 PD11-4 認知症予防を踏まえた栄養指導の実際

国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 栄養管理部／(一社) 日本病態栄養学会

高木咲穂子

合同パネルディスカッション 12

日本病態栄養学会 / 日本健康・栄養システム学会

栄養・代謝病態を組み入れた医療と介護の情報連携

— 令和 6 年度診療報酬改定による影響を含めて —

第 3 日目 2026年 2月 1日(日) 13:00～ 14:45 "Room D"

栄養領域における疾患病態の理解のみならず、限られた医療・介護資源を最大限に生かす情報連携システムの構築は喫緊の課題です。本合同パネルでは、令和 6 年度診療報酬改定の影響もふまえ、病院・在宅・地域をつなぐ栄養代謝病態の情報共有と、多職種連携による切れ目ない支援の在り方をディスカッションする。

座長

社会医療法人財団慈泉会相澤病院 栄養科
盛岡市立病院

矢野目英樹
加藤 章信

合 PD12-1 医療・介護・地域での切れ目のない栄養連携

医療法人社団千春会千春会病院 栄養科／(一社) 日本健康・栄養システム学会

谷中 景子

合 PD12-2 介護保険施設からつなげる医療と介護の栄養情報連携

平成医療福祉グループ 栄養部 部長／(一社) 日本健康・栄養システム学会

堤 亮介

合 PD12-3 栄養情報連携料算定に向けた当院での取り組み

独立行政法人国立病院機構別府医療センター 栄養管理室／(一社) 日本病態栄養学会

本荘 真一

合 PD12-4 医療・介護連携に必要な病態栄養情報～一体的取組からみえてきたこと～

社会医療法人財団慈泉会相澤病院 栄養科 科長／(一社) 日本病態栄養学会

矢野目英樹